

枚方淀川探鳥会2024年1月

2024年(令和6年)1月7日(日) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二(☎090-6901-1425)

あけましておめでとうございます

今年は災害がなく、鳥見ができる年になることを、願っています。

1月1日 能登半島地震発生 M7.6 最大震度7
(1995年阪神淡路大震災 M7.3 最大震度7)

↳ M7.6/7.3 ≒ 3倍以上の大きさ

1月2日 羽田空港日航機・海保機 衝突炎上



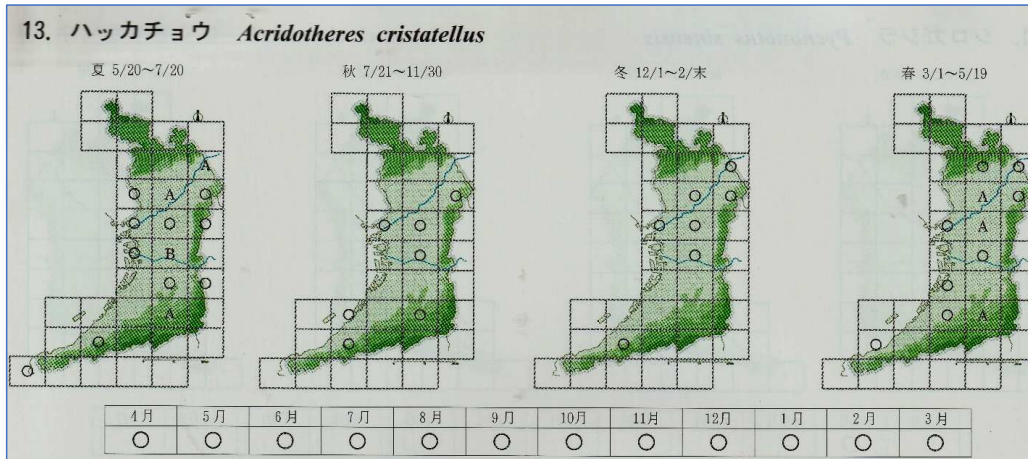
I 今月の鳥・ハッカチョウ

今月の鳥は先月2023年12月の探鳥会で、鳥合わせ後に昼食場所に来た鳥がハッカチョウとしました。
私が担当してから初観察だったこともあり、外来種ですが、今月探鳥会の鳥としました。



ハッカチョウ(20231203)

I-①ハッカチョウ:大阪府の状況 大阪府鳥類目録2016(日本野鳥の会大阪支部)



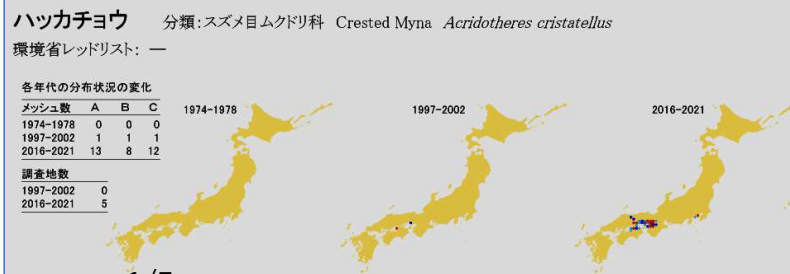
大阪府では1983年豊中市で、1989年富田林市で繁殖記録がある。その後、2003年に高槻市、2008年に長柄橋と淀川周辺で確認されていた。

それ以降、各地で記録されており、繁殖を含め、確認地点が増えつつある。

I-②ハッカチョウ:全国の状況 全国鳥類繁殖分布調査(2016-2021)

全国の分布は1970年代から1990年代にかけて急激に拡大した。1990年代から2010年代にかけてはAランクメッシュ数が拡大している。

ハッカチョウは江戸時代前期から飼い鳥として輸入された記録がある。1970年代から京都府で、1980年代から神奈川県で繁殖記録がある。現在は瀬戸内海東部周辺地域と神奈川県で記録されている。2010年代には過去の調査と比べて瀬戸内海東部周辺地域で記録メッシュ数が増えた。



Ⅱ 枚方淀川探鳥会コースの樹木伐採

■枚方淀川探鳥会コースの樹木伐採についての経緯と大阪支部の対応について 平 軍二

淀川河川敷には、30年以上樹木が伐採されていなかったため樹林化し、春秋の渡り鳥や、冬鳥が良く観察できることから「野鳥通り」と称されている場所がある。

2023年4月、淀川を管理している淀川河川事務所より、「野鳥通り」を含む枚方市域の河川敷、上流は三川合流点～下流は天野川合流点まで、樹林を伐採するとの連絡が入った。

淀川河川敷で探鳥会・野鳥調査を実施している地元団体、「枚方生きもの調査会」「枚方野鳥の会」と、「日本野鳥の会（枚方淀川探鳥会）」の環境三者が連絡を取りあい、樹木伐採に対する要望書を淀川河川事務所に提出した(8月)。

河川敷は本来の自然環境である草地や湿地環境が維持・保全されることが重要であり、樹木伐採を反対する立場にない。これまで上流の牧野ゴルフ場（本流側）などで実施してきたと同様に、鳥の止まり木となるよう、50mに1本程度で木を残すことにしてほしいなどを要望した。

要望書をベースに河川事務所とは何回も打ち合わせの上、河川事務所（+工事業者）と環境三者が、現地立ち合いで残すべき木などを、決定した。

11月中旬から伐採作業が急ピッチで推進されており、12/3時点の「野鳥通り」の伐採状況は写真の通りである。



今回の樹木伐採で枚方淀川探鳥会での観察種数が林の鳥を中心に減少する可能性もあるが、

- ・草原の鳥が良く観察できること
- ・草原から樹林へ変化と鳥の変遷が分かること 等を期待しながら、今後の探鳥会を開催したいと思っている。

淀川河川敷の樹木伐採について 大阪支部むくどり通信に掲載

2023年度に入って、淀川河川敷の樹林の伐採計画が発表され、「野鳥通り」と称されている30年間伐採されたことなかった樹林の伐採が12月に実施された。

この伐採を知った会員の方から、日本野鳥の会大阪支部はどのように対応したのか、特にオオタカ営巣地はどうするのか、質問があった。

探鳥会に参加されている方には、毎月の探鳥会資料で経緯を報告してきたが、探鳥会に参加されて支部会員の方にもわかるよう、むくどり通信に報告してほしいと希望されたので、左のような文章を、むくどり通信の1月号に掲載いたしました。

淀川河川事務所に対しオオタカ営巣個所周辺の樹林を残してもらったようお願いした結果、実際に営巣個所周辺の樹林が残されました。しかし、大阪支部がむくどり通信で「淀川河川敷にオオタカが営巣した」と、公表することに異論があり、記載していません。

(写真 3枚とも 枚方野鳥の会竹内氏)



↑3/2 (2023年オオタカ夫婦) 6/1↓



Ⅲ 先月(12月3日)探鳥会報告

写真: 西脇淳浩

師走に入って朝の冷え込みは厳しかったが、風がほとんどなく穏やかな探鳥日和でした。先月中旬から始まった樹林伐採の影響もありエナガは出ず、コゲラ・シロハラが1羽のみと林の小鳥は少なかったが、**ニシセグロカモメ**として初記録としたが**普通カモメ**と分かった鳥(カモメも枚方淀川探鳥会では稀な鳥)、ハジロカイツブリ・ハッカチョウと、珍鳥がカバーしてくれました。

カモは182羽カウントしたキンクロハジロ以外の個体数は少なかったが7種、カイツブリはカンムリ25羽にハジロ2羽が加わり3種、猛禽類がミサゴ・トビ・ハイタカ・ノスリ・チョウゲンボウの5種、セキレイはタヒバリが加わって4種など、淀川本来の鳥が多く出たので、トータル48種と昨年12月の44種を上回る探鳥会になった。しかし、30年間切られることがなく、今年はオオタカが3羽の子育てに成功したほどの「野鳥通り」の樹林が、洪水対策のためと言え、「オオタカ営巣保護区域」として残す部分を除き全伐されている姿は、見るに耐えがたい光景でした。

伐採された後の状況ですが、

- ①残した狭い面積で、オオタカが繁殖してくれるかどうか
- ②樹木が伐採されてできた草はらで、草原の鳥が繁殖するかどうか
- ③春秋の渡り時にキビタキ・オオルリ・コサメビタキ・ムシクイが見られた森は、何年後に復活するか

など、参加された方一人一人がこれまでの記憶を重ね、歩かれたと思います。

今後は、「**樹林の変遷とともに、観察できる鳥(生息する鳥)がどのように変化するかを記録していく**」という、前向きとらえて探鳥会をすすめたいと思っている。



ミサゴ



カワラヒワ



モズ



シロハラ



オオバン



ハジロカイツブリ



手前ヨシガモ 奥キンクロハジロ



カモメ

探鳥会ではニシセグロカモメとしたカモメの仲間、カモメ類をよく見ている方から種カモメと指摘があり、種名を修正した。↑

Ⅳ 来月2024年2月4日探鳥会

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式から申し込みください。

冬鳥が出そろっている季節。樹林が無くなっても観察できるツグミ、一方、12月たまたま出てくれたシロハラ、イカル・シメ・アトリなどは出ないと思っています。

例年通りであれば、冬季は50種前後観察できるところですが、樹林が無くなって林の鳥が出ないので、草原の鳥・水辺の鳥が良く見えることから、45種ほどを期待しています。



カワアイサ(平)

V 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023											2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	8/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3		
5	キジ	49	3		2	1				1	1	1				
21	ツクシガモ	1														
26	オカヨシガモ	47		雨			夏					4				
27	ヨシガモ	16	10	天			休					1				
28	ヒドリガモ	44		中			み					3				
29	アメリカヒドリ	5		止												
30	マガモ	56	1									4				
32	カルガモ	91	12		6					6	4	6				
34	ハシビロガモ	9														
35	オノガガモ	8														
36	シマアジ	1														
37	トモトガモ	1														
38	コガモ	59	10													
42	ホシハジロ	40	3									31				
43	アカハジロ	4														
46	キンクロハジロ	42										182				
47	スズガモ	6														
59	カワアイサ	46														
60	ウミアイリ	3														
62	カイツブリ	46	1								2	3				
64	カンムリカイツブリ	57	2									25				
66	ハジロカイツブリ	4										2				
74	キジバト	112	4		2	1		/	11	4	3					
83	シロエリオオハム	1														
127	カワウ	111	7		6			5	7	14	21					
139	ゴイサギ	10			1	5										
141	ササゴイ	15														
143	アマサギ	2														
144	アオサギ	112	2		1	1		2	2	3	5					
146	ダイサギ	109	5		6	2		3	5	4	1					
148	コサギ	100	5		1	1		2	2	6	5					
153	ヘラサギ	1														
154	クロツラヘラサギ	1									5					
166	クイナ	12														
170	ヒクイナ	7														
174	バン	23														
175	オオバン	48	53								26	83				

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023											2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	8/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3		
185	ホトギス	2														
187	ツツドリ	2														
188	カッコウ	1		雨			夏									
192	アマツバメ	2		天			休									
194	タゲリ	1		中			み									
195	ケリ	27		止												
202	イカルチドリ	9														
203	コチドリ	30	1													
204	シロチドリ	4														
219	タシギ	4														
227	チュウシャクシギ	2														
235	アオアシシギ	1														
239	クサシギ	3														
241	キアシシギ	1														
244	イソシギ	80	1									2	2	3		
251	トウネン	1														
266	ハマシギ	1														
286	ユリカモメ	22												3		
293	ウミネコ	3														
294	カモメ	3												1		
299	セグロカモメ	19														
307	コアジサシ	9														
339	ミサゴ	66										2	2	2	2	
340	ハチクマ	2														
342	トビ	92	3		1	3		2	2	2	2					
349	チュウビ	1														
355	ハイタカ	33	2													
356	オオタカ	25	1		1	2								1		
357	サシバ	1														
358	ノスリ	34												1		
366	オオコノハズク	1														
383	カワセミ	91	2		2	1		5	2	4	2					
388	アリスイ	9														
390	コゲラ	94	2		5	3		4	3	2	1					
393	アカゲラ	6														
401	チョウゲンボウ	53	1								3			1	1	
407	ハヤブサ	26														

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023												2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3			
412	サンショウクイ	1															
418	ザンクウチョウ	1		雨			夏										
420	モズ	103	2	天	1	4	休	4	12	14	5						
435	ハシボソガラス	114	14	中	13	8	み	8	15	34	72						
436	ハシブトガラス	111	4	止	3	4		7	2	5	5						
438	クイタダキ	8															
439	ツリスガラ	1															
442	ヤマガラ	7															
443	ヒガラ	1															
445	シジュウカラ	106	14		4	8		13	3	10	3						
452	ヒバリ	64	1			1				2							
455	ショウドウツバメ	6															
457	ツバメ	58	2		41	30		19	3								
459	コシアカツバメ	20						3	2								
461	イワツバメ	46			70	2				30							
463	ヒヨドリ	115	234		35	33		12	78	87	71						
464	ウグイス	109	18		10	15		2	1	7							
466	エナガ	87	6		3			2	40	6	3						
476	オオムシクイ	5															
477	メボソムシクイ	5															
479	エゾクシクイ	1															
480	センダイムシクイ	7															
483	メジロ	92	2		8	7		8	8	4	4						
492	オオヨシキリ	30			6	6											
499	ヤッカ	29			3	4											
506	ムクドリ	102	9		93	60		10	59	20							
508	コムクドリ	5									4						
511	ホシムクドリ	2															
520	マミチャジナイ	1															
521	シロハラ	51	1								1						
522	アカハラ	2															
525	ツグミ	55	72								3						
533	ノゴマ	1															
536	ルリビタキ	1															
540	ジョウビタキ	55								8	3						
542	ビタキ	13															
549	インビヨドリ	33															

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2023												2024		
			4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/3	1/7	2/4	3/3			
552	エゾビタキ	6															
553	サメビタキ	1		雨			夏										
554	コサメビタキ	17		天			休	1									
558	キビタキ	16		中			み										
560	オジロビタキ	1		止													
561	オオルリ	4															
569	スズメ	114	11		42	28		22	94	45	41						
573	キセキレイ	36	1						1	3	2						
574	ハクセキレイ	105	5		4	1		4	4	6	14						
575	セグロセキレイ	102	2			2		2	1	4	3						
584	タヒバリ	29	1								5						
586	ノトリ	29															
587	カワラヒワ	104	11		6	3				10	17						
588	マヒワ	6															
592	ベニマシコ	44								2							
600	シメ	41															
602	イカル	17															
610	ホオジロ	109	14		10	8		2	3	6	4						
614	ホオアカ	6															
617	カシラダカ	23															
618	ミヤマホオジロ	1															
624	アオジ	65	3							10	4						
628	オオジュリン	17															
	コジュケイ	13															
	カワラバト(トバト)	110	○		22	1		12	21	30	24						
	ハッカチョウ	1									6						
	カッコウSP	5															
	アイガモ	3							1	1	1						
	メボソムシクイSP	5									2						
	ヒタキSP	3															
	種数合計(自動計算)		45	30	30			26	32	39	48						
	個体数合計(自動計算)		559	408	248			163	426	432	691						
	探鳥会参加者数		16	28	16			15	12	25	26						
	11年 間		1~2回														
			100回以上														
	今後樹林伐採影響																